

(別紙5)

整理番号 2020P-276

補助事業名 2020年度 幸せに暮らせる福祉社会を創る活動 [緊急支援] 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人ことぶき会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

利用者や職員に、マスクをはじめとする衛生器具の充実を実感してもらうことで、新型コロナウイルスの発生時の初期対応に積極的に関われるように意識を高めるとともに、予防においても「感染症委員会」指導の下、清潔保持等の研修活動の充実を図り、ワクチンが充足していない今を、高齢者や乳幼児とともに安心できる生活や、職員が家族と安心して働ける環境を作っていきたい。

主な研修活動とは

感染症委員会が中心となり、毎月研修内容を検討し、隔月には、手洗いの励行の研修を行ったりしており、大きな研修として、令和3年3月4日(木)に、講師：津山第一病院の感染管理認定看護師を講師に招き、岡山県内の施設から数名の職員が出席し、下記新型コロナ対策伝達研修を実施した。

この研修の内容は、

1. 講義
2. 施設内ラウンド・ゾーニングについて
3. ガウンの着脱の方法の実技
4. 質疑応答

Q1 コロナ対策の動画研修で、ガウンを再利用することを言われたがどうしたらよいのか？

A1 72時間でウイルスが死ぬと言われているが、それはウイルスのみが付着した場合であり、くしゃみや痰が付着した場合は、それ以上の時間がかかるためウイルスは目に見えないので、きちんとしたガウンでなく、ゴミ袋等で作成した物でも良いのその都度破棄した方が良い。

Q2 ごみ袋でのガウンの作成方法を教えてほしい。

A2 簡単な作成図を参考に作成する。使用後ひも部分を引きちぎるために、少し切れ目を入れておいた方が良い。

Q3 クラスターが発生した特養が実際にどのように対応しているのか？困ったことやこうしておけば良かった等の情報があれば教えて頂きたい。

A3 老健でクラスターが発生した施設では、濃厚接触者でもリスクわけを行い、リスクが高い職位は2W出勤停止にしリスクが低い職員で業務を行った。そこは「目が保護できていなかった」とのこと。食事介助時やマスクが出来ない利用者を介助する際には必ずフェイスシールドを使用した方が良い。

Q4 他施設から応援職員を受け入れることを想定しているが、スムーズな受け入れのために備えておくことはありますか？

A4 マニュアル、業務要領を作成する。また、入職した時に行うオリエンテーションの冊子を感染用に作り直す。

Q5 ゴーグルなどの消毒はアルコール60%以上のものが良いのか？

A5 新型コロナウイルスは、普通の洗剤でも死滅するのでなんでも良い。ただしアルコールの濃度が低いと効果はないのでアルコール濃度に注意が必要。

Q6 同居家族が体調不良の場合、職員は出勤してもよいのか？

A6 職員本人に体調不良や症状がなければ出勤しても良い。ただし、通常時

(別紙5)

よりリスクが高いことを自覚して食事時間をずらす、食事場所を車内にするなど注意すること。

Q7 ゴーニングはどうしたらよいのか？

A7 発生時の保健所と相談にはなるが、感染者が1人2人の場合は、その居室をレッドゾーンにしたり、別々の居室であれば1つの居室にまとまる等対応しやすい範囲で行い、感染状況をみながら範囲を検討していく。

Q8 施設内で発生した際、保健所から物品が支給されたりするのか？

A8 感染対策物品の支給がある。また、数は少ないが老施協からも届くことになっている。

以上

(2) 実施内容

<https://okayama-kotobuki.sakura.ne.jp/new/04info/info.html>

<p style="text-align: center;">1</p>  <p>キャブ ション:プラスチックの購入</p>	<p style="text-align: center;">2</p>  <p>キャブ ション:子供用の消毒液</p>	<p style="text-align: center;">3</p>  <p>キャブ ション:ソフトマスク</p>
<p style="text-align: center;">4</p>  <p>キャブ ション:フェースガードとカウ</p>	<p style="text-align: center;">5</p>  <p>キャブ ション:クリーンエプロン</p>	<p style="text-align: center;">6</p>  <p>キャブ ション:プラスチック手袋</p>

2 予想される事業実施効果

衛生委員会をはじめ、職員の日ごろの衛生意識の向上により、手洗いの励行、飲食・県内外への行楽の自粛等により、大きなクラスターは発生することなく現在まで推移しており、その上で、衛生器具があることで、クラスターを出さない、出てもすくに対応できるとの安心が根底となっており、職員一同新型コロナウイルスのみならず、新たなウイルスへの対策の充実を図って今後も邁進していきたい。

(別紙5)

3 印刷物

本事業に係わる印刷物等

別紙JKA-houkokuを参照。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 社会福祉法人ことぶき会

(シャカイフクシホウジン コトブキカイ)

住 所 : 〒709-2136

岡山県岡山市北区御津紙工1410番地

代 表 者 : 理事長 佐能 量雄 (リジチョウ サノウカズオ)

担 当 部 署 : 宇甘川荘 (ウカイガワソウ)

担 当 者 名 : 副施設長 江田 貴 (フクシセツチョウ エダ タカシ)

電 話 番 号 : 086-726-0331

F A X : 086-726-0332

E - m a i l : ukai@okayama-kotobuki.sakura.ne.jp

U R L : <https://okayama-kotobuki.sakura.ne.jp/index.html>